

科目名	音 楽	教員名	土門 裕之 <small>どもん ひろゆき</small>	開 講	保育科	1 年次	前・後期		
<p>・目的と内容</p> <p>この講義では、幼児教育における音楽について学ぶ前に、「こどもを惹きつける魅力を持った教師の取り組み」「音楽とは何か」「こどもにとって学習とはどういう意味か」をまず理解し、その上で「ムーブメント教育」「外国の音楽教育」を参考にしながら「こどもを主体にした音楽教育のあり方」を考える。さらに、音楽教育の基礎的知識を修得する。</p> <p>実際には、理論的内容と実技をミックスする形で展開し、より実践での応用に配慮した形で展開する。また、自らの感性を伸ばす体験としての実技も導入し、幼児期の音楽体験を記憶の中から呼び戻すことで理論的理解を深める。</p>									
<p>・授業計画 [単位数：2 単位、授業週数：30 回]</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>[前期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音楽とは何かー音楽の起源を探るー 2. こどもを惹きつける魅力ある教師像とは 3. 即時反応 (Quick reaction) と応用ゲーム 4. 指遊び・手遊びの効果と展開上の問題点 5. こどもの歌 (歌唱実践) 6. こどもの歌 (歌唱実践) 7. 楽典 (楽語と音楽記号) 8. ムーブメント教育の基礎 9. ムーブメント教育の基礎 10. ムーブメント教育の基礎 11. 楽器法 (簡易な器楽アンサンブル実習) 12. 楽器法 (簡易な器楽アンサンブル実習) 13. 前期授業のまとめ 14. 音楽授業・保育指導案の書き方 15. 音楽授業・保育指導案の書き方 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>[後期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国の音楽教育 (コダーイシステム) 2. 外国の音楽教育 (オルフのシュールベルグ) 3. こどもの歌「季節」「行事」「生活」の弾き歌い 4. 幼児音楽教育法 「歌唱指導」と実際 5. 幼児音楽教育法 「楽器指導」と実際 6. 幼児音楽教育法 「踊りの指導」と実際 7. 音楽授業/保育指導案の書き方 8. 音楽授業/保育指導案の書き方 9. 応用/総合実技 10. 応用/総合実技 11. 応用/総合実技 12. 応用/総合実技 13. Eurhythmics 理論 (幼児音楽教育の総合的理解) 14. Eurhythmics 理論 (教師論) 15. 講義のまとめ </td> </tr> </table>								<p>[前期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音楽とは何かー音楽の起源を探るー 2. こどもを惹きつける魅力ある教師像とは 3. 即時反応 (Quick reaction) と応用ゲーム 4. 指遊び・手遊びの効果と展開上の問題点 5. こどもの歌 (歌唱実践) 6. こどもの歌 (歌唱実践) 7. 楽典 (楽語と音楽記号) 8. ムーブメント教育の基礎 9. ムーブメント教育の基礎 10. ムーブメント教育の基礎 11. 楽器法 (簡易な器楽アンサンブル実習) 12. 楽器法 (簡易な器楽アンサンブル実習) 13. 前期授業のまとめ 14. 音楽授業・保育指導案の書き方 15. 音楽授業・保育指導案の書き方 	<p>[後期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国の音楽教育 (コダーイシステム) 2. 外国の音楽教育 (オルフのシュールベルグ) 3. こどもの歌「季節」「行事」「生活」の弾き歌い 4. 幼児音楽教育法 「歌唱指導」と実際 5. 幼児音楽教育法 「楽器指導」と実際 6. 幼児音楽教育法 「踊りの指導」と実際 7. 音楽授業/保育指導案の書き方 8. 音楽授業/保育指導案の書き方 9. 応用/総合実技 10. 応用/総合実技 11. 応用/総合実技 12. 応用/総合実技 13. Eurhythmics 理論 (幼児音楽教育の総合的理解) 14. Eurhythmics 理論 (教師論) 15. 講義のまとめ
<p>[前期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音楽とは何かー音楽の起源を探るー 2. こどもを惹きつける魅力ある教師像とは 3. 即時反応 (Quick reaction) と応用ゲーム 4. 指遊び・手遊びの効果と展開上の問題点 5. こどもの歌 (歌唱実践) 6. こどもの歌 (歌唱実践) 7. 楽典 (楽語と音楽記号) 8. ムーブメント教育の基礎 9. ムーブメント教育の基礎 10. ムーブメント教育の基礎 11. 楽器法 (簡易な器楽アンサンブル実習) 12. 楽器法 (簡易な器楽アンサンブル実習) 13. 前期授業のまとめ 14. 音楽授業・保育指導案の書き方 15. 音楽授業・保育指導案の書き方 	<p>[後期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国の音楽教育 (コダーイシステム) 2. 外国の音楽教育 (オルフのシュールベルグ) 3. こどもの歌「季節」「行事」「生活」の弾き歌い 4. 幼児音楽教育法 「歌唱指導」と実際 5. 幼児音楽教育法 「楽器指導」と実際 6. 幼児音楽教育法 「踊りの指導」と実際 7. 音楽授業/保育指導案の書き方 8. 音楽授業/保育指導案の書き方 9. 応用/総合実技 10. 応用/総合実技 11. 応用/総合実技 12. 応用/総合実技 13. Eurhythmics 理論 (幼児音楽教育の総合的理解) 14. Eurhythmics 理論 (教師論) 15. 講義のまとめ 								
<p>・講義の進め方</p> <p>理論学習と実技を混合する形で展開し、実技を通して感じたことを基本にさらに理論学習を深める。動きやすい服装で受講すること。</p> <p>また、毎時間終了後に、各自の到達度と授業の感想を把握するためのレポート提出がある。</p>									
<p>・試験と成績評価</p> <p>本講義は、授業での意欲や発想・表現力を十分に評価し、加えて、定期試験や小テスト(レポート)などの内容を踏まえて総合的に評価する。</p>									
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>受身で受講することなく、自己の経験や体験をベースに豊かな発想と意欲を最大限に発揮してもらいたい。なお、羞恥心は幼児教育者にとって最大の壁といっても過言ではない。従って、一日も早く、羞恥心を取り払い、ユニークな表現力を養って行くことが、単位取得の条件であると考えて欲しい。</p> <p>重ねて、音楽の単位取得には、最低限のピアノ演奏技能が備わっていないと行けない。音楽(ピアノ実技)の単位を取得できない場合、結果として本単位も取得できない場合があるので、注意すること。</p>									
<p>・使用教材</p> <p>教科書：『こどもの歌曲 200 選』 ドレミ楽譜出版社 :『音楽の基礎』 著者 木許隆・土門裕之ほか 圭文社 :『うたっておどっておもちゃ箱 2』 鈴木恵津子 編著 教育芸術社</p>									